

尼子公民館前信号機 についての説明会

去る9月25日、尼子公民館前信号機の撤去が計画されている問題で、尼子・下之郷区長さんなど関係する方々を対象に説明会がありました。西澤議員も参加を呼びかけられ、出席しました。その概要は以下のとおりです。

彦根警察署から交通係長の古池氏が現状を説明。

当信号機は耐用年数が経過し、コンクリート柱の寿命が来ている。更新か廃止かの検討に入り、「廃止の方向」が濃厚である旨を報告。信号機は県下で2300か所、彦根管内で227か所あり、当信号機は県下で107番目に昭和43年9月に設置。通学路など新規設置の要望が彦根署管内で約200か所あるが、必要か所に答えられていない。6月の3日間、登下校時に利用状況を検証した。子どもたちはきちんとボタンを押して、南北側が青信号になってから渡り、ルールを守っている。ところが、ほとんどの車、自転車、中学生以上、大人が信号を守っていない。これほど信号を守らない信号機は他にない。当信号機の必要性が低い現象では。廃止の方向で進んでいるのが現実。しかしみなさんの意見を直接聞きたい。

参加者のご意見

北川町長は、大切な子どもたちの通学路であり、ぜひ存続させていただきたい、と要請。

甲良民報

2013年10月6日 604号
発行責任：日本共産党甲良町議員団
連絡：甲良町在士463(西澤)
Tel.Fax38-4949

尼子公民館前

Aさんは、廃止しなければならないネックとなっている問題は何か、お金の問題か、と問いかけ、小学生の子どもたちはルールを守っているのに、中学生や大人のルール破りのため、ルールを守っている者が犠牲になるのはおかしい。そこを改善しなければならないのでは。

若松医院前のような点滅信号のようなシステムにすれば、注意して渡ることになり、青信号に変わるまでに飛び出すことがなくなる。

車は少ないが重要な場所だ。費用を優先して考えるのは改めるべきでは。

西小学校の校長先生：当信号機は63名(全校生徒の3割)の生徒が利用している。1年生で通学路を必ず教えている。生徒たちの安全の拠りどころとなっており、ぜひ存続を。

西澤議員は、

このような関係者の意見を直接聞く配慮に感謝する、と述べた上で、安全施設が充実しても“万全”とはならない事故が起きている。しかし、信号機は安全のよりどころ。人の安全・命を都市部と田舎の差で考えることは相応しくない。通行量が少なくても、安全を脅かされる瞬間は、まったく同等。通学路は最優先で信号機が必要。と存続を要請しました。

信号機は存続を

尼子公民館前の信号機が廃止されようとして、問題になっています。尼子の役員さんらから存続の要請があり、9月議会的一般質問(9月6日)で取り上げました。

西澤議員は、Kモーター、館内の信号機の中から耐年数19年という更新期間の済んでいるところをなくしたいとのこと、バイパスができてから交通量も少なくなつたこと、数日間の調査では、赤信号でも周りを見ながら発進する車が沢山あるなど、信号機がなくてもいいのではとの見解だった。しかし、町としては、通学路でもあるので撤去は困る。

あるので撤去は困ると、反対の意見は申し上げている。

存続には、町民のみなさんの世論と運



みなさんのお声・願いをお待ちしています くらし・医療・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123
日本共産党甲良町支部の見解を紹介します。メール siga-koura463@jcp-nobuaki.com ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】